

3月23日市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的で開催しています。

3月のテーマは「腎炎と腎不全のおはなし」。昨年12月当院に新設された「腎臓内科」の松浦元一指導医が、腎臓の働きと仕組み、さまざまな腎疾患について講演しました。

松浦医師は冒頭「腎臓は血液をきれいにする重要な臓器である」と話し、「エラ呼吸から肺呼吸、陸上の重力に耐えるなど、生物が海中での生活から陸上での生活へと適応していく長い進化の過程で腎機能が発達した」といった生物科学の側面からも語りました。「腎臓には糸球体と呼ばれるろ過器があり、一旦壊れると再生しない。糸球体がなんらかの原因で痛んでくると尿に蛋白が出る。『蛋白尿』により、血管中の蛋白が減少するとむくみなどの症状が出てくる」と説明。続いて、糸球体腎炎の種類や原因、症状、臨床経過、腎臓病共通の治療管理と透析療法について丁寧に解説しました。70人の方にご参加いただき、「クレアチン値がどのくらい高くなると透析を開始するのか?」「eGFRが急激に下がった場合、腎臓内科にかかった方がいいのか?」などの質問が寄せられました。



2月23日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

2月は「その症状、内分泌の病気かもしれません～甲状腺、副腎中心に～」をテーマに内科の近藤剛史医師が講演しました。市民公開講座でホルモンをテーマにした講演は今回が初めて。ホルモンとは何か、働きや特徴、また分泌する臓器について今回は特に脳下垂体、甲状腺、副腎皮質の3つに絞って説明がありました。なかでも甲状腺の二大疾患であるバセドウ病と橋本病について特に掘り下げて解説。「甲状腺ホルモンが血液のなかにたくさん出る病態のうち、甲状腺が多くのホルモンを作るバセドウ病や甲状腺が壊れることでホルモンが漏れ出す橋本病などもあり、それぞれ治療はまったく異なるので慎重な診断が必要です」と話しました。84人の聴講者からは「副腎の検査はどうするのですか」「甲状腺眼症で眠れないことはあるんですか」などの質問が寄せられました。



1月26日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

1月は「脳血管の病気からあなたを救う！脳動脈瘤の最新治療」をテーマに脳神経外科の島田健司医師が講演しました。脳動脈瘤の形成原因や治療方法、瘤の破裂によって起こるくも膜下出血について詳しく解説。「くも膜下出血は発症時のグレードによって予後は決まっています。いつもと違う頭痛があればそれは警告サインなので見逃さないように。親族に脳動脈瘤保有者がいるなどの危険因子がある人は脳ドックを受けてください」と呼びかけました。90人の聴講者のからは「クリッピング術で使用するクリップは年数が経っても外れることはありませんか」「脳動脈瘤の予防法はありますか」などの質問が寄せられました。



11月24日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

11月24日は、小児科の七條光市副部長が「注意が必要な、こどもの感染症」について講演しました。こどもの病気には「本人から症状の聴取ができない」「感染症が起こりやすい」「脱水になりやすい」「進行が速い」といった4つの特徴があるとして、こどもの発熱・脱水に関する注意や「発熱には、体力を消耗させるという悪い影響がある反面、細菌やウイルスなどの増殖を抑える良い影響もある」「こどもの解熱薬としてアセトアミノフェンが最も安全」など、クイズを交えながら説明しました。次に、インフルエンザ、百日咳、ノロ・ロタウイルスなどさまざまな感染症について、それぞれの特徴や合併症、治療法、感染経路、予防の方法などを詳しく解説しました。また、これからパパ・ママになる方には「大切なこどもにワクチンのプレゼントを」とワクチン接種の有効性を呼びかけました。聴講者には若い方やお子さま連れなど幅広い年齢層が見られ、「大人になってもはしかにかかることはあるのか」「タミフル内服時の異常行動について」などの質問が寄せられました。



10月19日 第15回心臓病ビジュアル市民公開講座を開催しました



「もっと知りたい検査と治療～カテーテルで治す！心血管病の最新治療～」をテーマに心臓病ビジュアル市民公開講座を10月19日に開催しました。メイン会場である徳島市あわぎんホールでは4名の医師がそれぞれ講演を行い、今年もカテーテル検査や治療の様子を徳島赤十字病院からあわぎんホールへ生中継。サテライト会場である当院大会議室でも聴講することができ、両会場を合わせて169人が訪れました。

〈講演〉

虚血性心疾患とは
心臓カテーテル検査の今
さらに優しくなったカテーテル治療
大動脈瘤！何にも怖くない！！早期発見と適切な治療

西内 健 医師(川島病院 循環器内科)
三河 純一 医師(三河循環器科内科 院長)
藤永 裕之 医師(徳島県立中央病院 循環器内科)
大谷 享史 医師(徳島赤十字病院 血管内治療科)



カテーテル治療の様子(左:岸医師)



サテライト会場 当院大会議室

〈術者〉

冠動脈造影検査	小倉 理代 医師
末梢血管カテーテル治療	高藤 広弥 医師
心血管カテーテル治療	岸 宏一 医師
症例紹介	高橋 健文 医師

当院からも司会に日浅芳一院長、大動脈瘤について血管内治療科の大谷享史医師が講演を行ったほか、カテーテル中継では循環器内科医師4名が実施・解説を行いました。参加者から回収したアンケートには、「心臓病について基礎的な知識がついた。大きな手術をしなくて済むように、運動・食事に気を付けるよう心掛けたい」「カテーテル、ステントのことがよくわかりました。実際の仕方を見て、すごさに感動しました」「手術の中継といった、普段見られない映像を交え、最新の情報を知ることができ、大層ありがたかった、感謝します」など好評な意見が多く寄せられ、カテーテル検査や治療への関心の高さがうかがえました。

9月22日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

9月のテーマは「下肢静脈瘤、そのまま大丈夫？～治療を勧める症状とその治療法について～」。来島敦史心臓血管外科副部長が動脈・静脈の違いや下肢静脈のしくみ、下肢静脈瘤が起こる原因、症状や治療法について解説しました。

来島医師は「血液の渋滞が起こっている、むくみ・だるさなどの症状のうちから治療することを勧めます」と話し、長時間手術等で立ちっぱなしのため下肢静脈瘤の症状が出ている自身の足を患者の足として紹介、笑いを誘っていました。また講演の中盤では手術動画を流しながらその様子をわかりやすく解説していました。137人の方にご参加いただき、「足を挙げて寝るのはいいことですか」「血管を押したとき、堅いと血管は詰まっているのですか」などの質問が寄せられました。



8月25日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

8月のテーマは「もっと知ろう！ピロリ菌と胃の病気」。桑山泰治消化器科副部長がピロリ菌やその除菌療法から胃がんに対する胃カメラでの治療までわかりやすく解説しました。桑山医師は「幼少期に口から感染することが一般的ですが、成人の日常生活ではほとんど感染しません」と話し、除菌療法での注意点やピロリ菌が引き起こす病気を詳しく説明しました。胃カメラが口から十二指腸までを通過する映像や胃がんの内視鏡による切除動画などは聴講者92人の興味を非常に惹きつけていました。

最後に桑山医師から「除菌することで胃がんの発生・再発リスクは三分の一に抑制されますが、ゼロにはなりません。除菌しても胃がんはできます」と話し、除菌成功後も胃の定期健診が必要であることを呼びかけました。講演後には「幼少期に井戸水で育った世代は感染していますか」「除菌した後の食生活や普段の生活で気を付けることは」などの質問が寄せられました。



7月28日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

7月のテーマは、「熱中症の予防と対策」。福田ひろみ救急看護認定看護師が、熱中症の起こり方や対処法、予防のポイントなどについて解説しました。

福田看護師は、熱中症の重症度分類Ⅰ～Ⅲ度の症状と診断を説明し「命の危険を伴う状態もあり、子どもと高齢者は注意が必要。特に高齢者は家の中など屋内で熱中症になるケースが多い。疑わしい症状を発見したら、慌てずにまず意識確認を。意識があれば安静にして冷却・水分補給を行い、反応が鈍ければ迷わず救急車を呼んでください」と呼びかけました。

気温30度を越える真夏日が続いていることもあって市民の皆様への関心は高く、95人の方にご参加いただきました。また、「冷房の設定温度は何度くらいが良いのか」「シャワーで汗を流すときの注意点は？」など多くの質問が寄せられました。



6月23日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

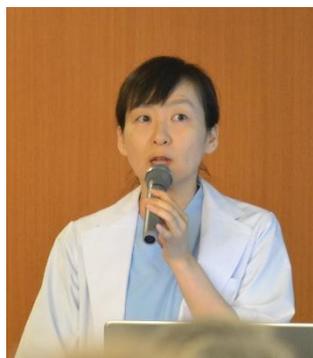
6月23日、泌尿器科の岸本大輝副部長が「排尿トラブルのおはなし～トイレの心配、なくしたい～」をテーマに開催しました。泌尿器科領域の講演は今回が初めてであり、聴講者127人には若い方やお子さま連れなど幅広い年齢層の方が見られました。

岸本医師は、「排尿の基本」として排尿と蓄尿の仕組みを説明したあと、排尿トラブルをケースごとに紹介。夜尿症（おねしょ）、尿失禁（尿漏れ）、夜間頻尿など、それぞれの原因や治療法を事例に沿って解説しました。聴講者は岸本医師の説明にうなずいたり、感心したりと様々な反応があり、終盤には「夜間とは何時から何時までですか」「膀胱は年齢とともにどのような変化があるのですか」など多くの質問が寄せられました。



5月14日 第16回生活習慣セミナー2017を開催しました

5月の恒例行事であるとくしま健康フォーラム事業「第16回生活習慣セミナー2017」が14日に開催され、172名の市民の皆さまにご参加いただきました。日浅院長は「初回から1度も雨が降ることなく開催されてきました。今日は皆さんが病気にならないためのお手伝いができたらと思います」とあいさつしました。



小倉医師
その症状、心不全かもしれません



栢下管理栄養士
見直そう“健康ごはん”



高瀬理学療法士
動脈硬化予防に効果的な運動のやりかた



日浅院長

参加者は、市民公開講座で心不全や動脈硬化予防などについて聴講した後、中庭でストレッチを行って1.5km・3kmそれぞれのコースにわかれ新緑の中をウォーキング（前後の血圧・血糖値計測を行います）。最後にホスピタルカフェ特製「麦ごはんの減塩おにぎり」と「とろみ付き味噌汁」を味わいつつ、互いに笑顔で歓談していました。

ご夫婦で参加された72才（男性）の方は「参加するのは今年で6回目。狭心症になって徳島赤十字病院でステントを入れてもらって以降、葉書で知らせてくれるので毎年参加しています。これに参加すると“歩かないかん、運動せなあかん”という気になれます。講演の資料がわかりやすく、説明も上手ですね」と話されていました。

